

地域との協働による高等学校教育改革推進事業

剛毅 **Fortitude**

優雅 **Elegance**

静岡県立熱海高等学校



熱海高校の概要

- ・ 令和元年度 創立78周年を迎える、全日制の普通科高校
- ・ 1学年 3クラス 120人定員 現在生徒数は253人
- ・ 2年次より「観光ビジネスコース」「福祉コース」「進学コース」「基礎コース」のコースに分かれる。
- ・ 熱海地区 37.5% 伊東地区 47.8% 三島・函南等 15%
- ・ 進学 約30% 就職 約60% それ以外 約10%
- ・ 就職地域
熱海 37.5% 伊東 23% 三島田方 4% 沼津駿東 4%
県外 25%

熱海高校が地域との連携を深化する意義

- 熱海市唯一の高等学校
- 地域の未来を担う人材の育成・輩出が期待されている。
- 地域人材を育成するため地域への課題・貢献意識の向上
- 総合的な探究の時間における実践

1年次「熱高ラボ」・・・地域社会の課題の一端を知り、その原因を探る方法や解決しようとする姿勢を身に付ける探究活動

(平成29年度より実施)

2年次「熱海ラボ」・・・地元自治体や企業と協働し、企業が求める人材の考察を通し、将来の生き方を考える探究活動

(平成30年度より実施)

First Step to 地域連携

地域を知ることの
大切さ

What are the problems of
Atami?

2050年の近未来日本の姿 「熱海」

空洞化



What can they do?

現在の熱海
年少人口 3%
生産年齢人口 50%
高齢化人口 47%

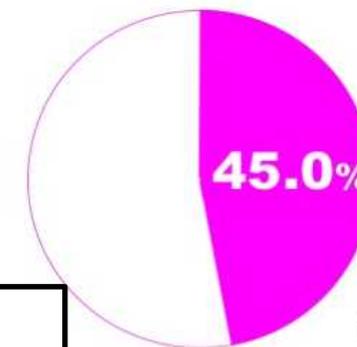
2050年の日本
年少人口 8.6%
生産年齢人口 51.8%
高齢人口 39.6%

30代未婚率全国
ワースト1位
48.5%

空家率 23%
静岡県
ワースト1位

コミュニティの
希薄化

熱海の高齢化率



税収減

※全国平均は26%

生活保護者率
静岡県
ワースト2位



死亡率 16.8人
(県9.7人)
働き盛り世代も
ワースト1位

公共サービスの低下

若者の流出

出生率 1.22
静岡県
ワースト1位

熱海市の「今」を知ること

高校生が「何ができるか」を知る

そして、「自分とは何か」を知る

「地域連携」を通して、
どんな人材に
育ってもらいたいのか？

コンソーシアム熱海が求める地域人材とは？

Who is 熱海人？

① 「課題先進地域」 2050年の日本の地方都市「熱海」が抱える課題を「自分事」としてリアルに考えることができる人材。

コンソーシアム熱海が求める地域人材とは？

Who is 熱海人？

②どんなに困難な課題
であってもしっかりと
にしがみ付く人材。

コンソーシアム熱海が求める地域人材とは？

Who is 熱海人？

③ 高校生の特権である正義と公正と理想を武器にひるむことなく大人と渡り合える人材。

コンソーシアム熱海が求める地域人材とは？

Who is 熱海人？

④現実に直面し、くじけそうになっても、仲間と協力し新たなアプローチを考え出すことのできる人材。

コンソーシアム熱海が求める地域人材とは？

Who is 熱海人？

⑤見返りを求めず、地域住民の喜ぶ顔を見て良かったと思うことができる人材。

コンソーシアム熱海が求める地域人材とは？

Who is 熱海人？

⑥たとえば、熱海でないどこか
であってもしっかりとその地域の
抱える課題に立ち向かい、地
域のために貢献できる人材。

コンソーシアム熱海が求める地域人材とは？

Who is 熱海人？

①「課題先進地域」
2050年の日本の地方都市「熱海」が抱える課題を「自分事」としてリアルに考え、

②どんなに困難な課題であってもあきらめずにしがみ付き、

③高校生の特権である正義と公正と理想を武器にひるむことなく大人と渡り合い、

立ち向かえ
解のない課題へ

④現実に直面し、くじけそうになっても、仲間と協力し新たなアプローチを考え出し、

⑤見返りを求めず、地域住民の喜ぶ顔を見て良かったと思い、

⑥たとえ、熱海でないどこかであっても同様にその地域の抱える課題に立ち向かい、地域のために貢献できる人材

30代未婚率
全国ワースト
1位 48.5%

出生率 1.22
静岡県 ワースト1位

生活保護者率
静岡県 ワースト2位

空家率 23%
静岡県 ワースト1位

2050年の
日本の人口構造

- 地域の抱える課題を自ら探り、課題解決のために主体的に取り組む人材 以上6つの資質・能力を兼ね備えた人材
- = 熱海人（あたみんちゅ）

• こうした人材を育成するために生徒に習得させる**具体的な能力**とは？

コンソーシアム熱海が育成する資質・能力

探究力

読解力、文章表現力、数的処理能力

価値の創造、好奇心、知識欲、解決欲求

表現力、思考力、判断力

コンソーシアム熱海が育成する資質・能力

主体性

リーダーシップ、自発的、自主的、積極性、自律性、やり抜く力

企画力、創造力、提案力

コンソーシアム熱海が育成する資質・能力

協調性

コミュニケーション能力、共感力、
チーム志向、敬愛、協力

フォロワーシップ、多様性、寛容、受容

コンソーシアム熱海が育成する資質・能力

探究力

読解力、文章表現力、数的処理能力

価値の創造、好奇心、知識欲、解決欲求

表現力、思考力、判断力

主体性

リーダーシップ、自発的、自主的、積極性、自律性、やり抜く力

企画力、創造力、提案力

協調性

コミュニケーション能力、共感力、チーム志向、敬愛、協力

フォロワーシップ、多様性、寛容、受容

“熱海人”としての資質・能力

<本校の教育方針>

- 自発的に学習し、自主的に判断し、自律的に行動できる人間の育成
- 民主的な社会の形成者として、敬愛と協力の精神を持ち、誠実に生き、かつ働く健康な人間の育成
- 故郷を大切にし、将来にわたり地域を支える人間の育成

地域人材としての資質・能力を育成する 学習方法

あらかじめ解答が用意されているわけではない。

→ **課題解決型学習**の活用

- A 問題に出会う。
- B どうしたら解決できるのか実践的・論理的手法によって考える。
- C 相互に話し合い、何を調べるのかを明確にする。
- D 自主的に学習する。
- E 新たに獲得した知識を問題に適用する。
- F 学習したことを要約する。

課題解決型学習の課題例

- 熱海市の中華料理店の売り上げアップについて
- 熱海市で中華料理店を営んでいるBさんは若いころ東京の某有名ホテルの中華料理長を勤めたほどの腕前で、熱海駅周辺という立地からも多くの観光客でにぎわい、行列ができるほどの人気店で会った。
- しかし、駅ビル内に同種のチェーン店が出店し、売り上げはピーク時の7割にまで落ち込んだ。個店の強みを活かし、大手チェーンと差別化したメニュー開発やサービスの提供などの相談が、店主からあった。
- 売り上げアップのためのアドバイス、支援方法を具体的に提案してください。



熱海新聞

熱海市中央町19-14
コルト山ビル1F
〒413-0015

電話 0557 (81) 0648
FAX 0557 (83) 3553

伊豆新聞本社
〒414-0054

伊東市藤田1290-6
電話 0557 (36) 1234

伊豆新聞ニュースサイト
<http://izu-np.co.jp/>

リニューアブル3周年記念
名品展第2部
桃山・江戸の
M

「利用者工賃アップの案は」

熱海ラボで 地域の課題探る 企業訪問

熱海高2年



二都海高の熱海ラボで企業訪問の様子

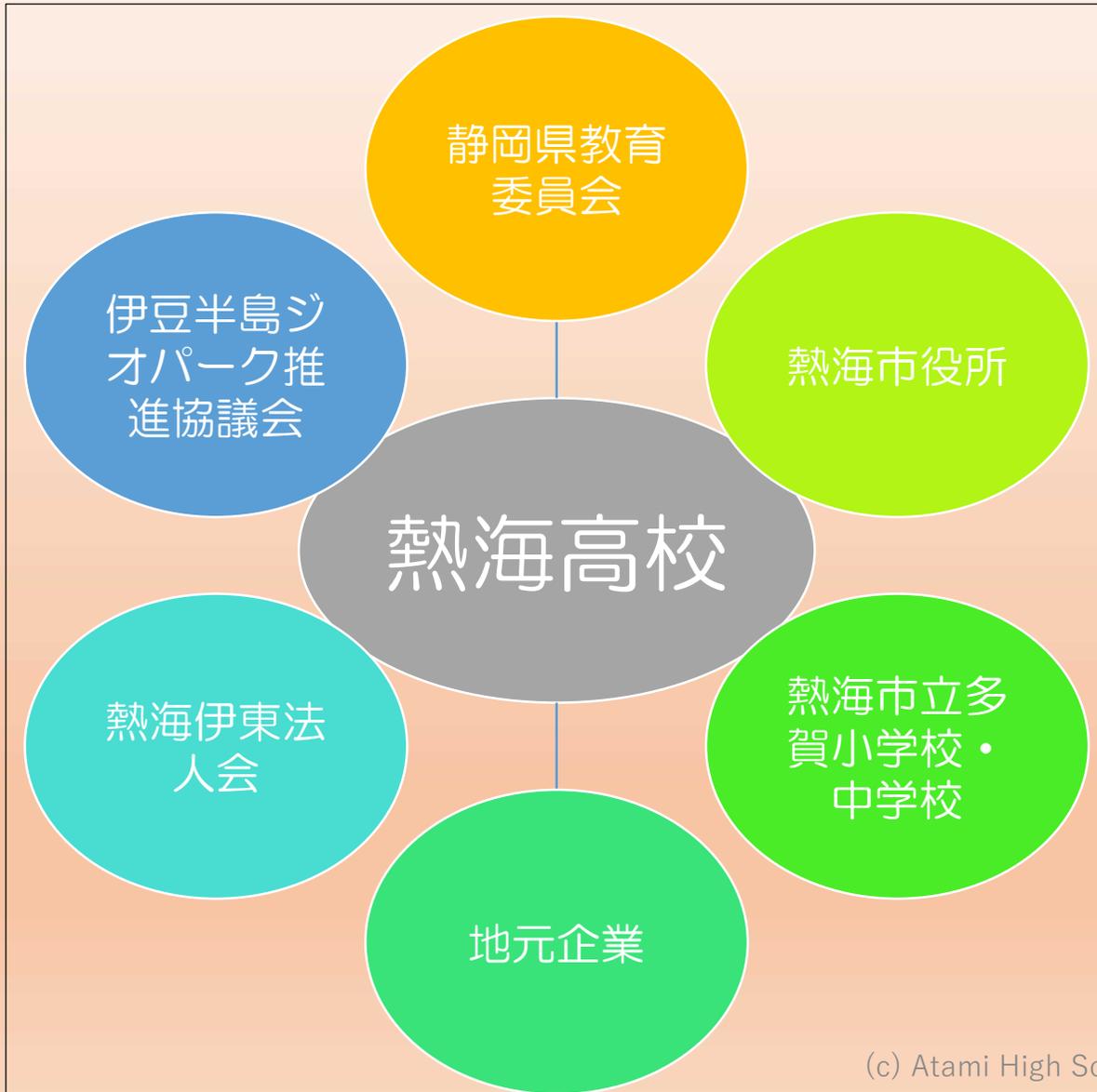
熱海高2年生は26日、総合的な学習「熱海ラボ」で第1回の企業訪問フィールドワークに取り組んだ。生徒がグループごとに市役所、熱海ガス、ホテル・ニューアカオといった市内主要所へ出向き、地域課題の抽出に当たった。

福代のZAC法人熱海校舎で呼び掛けの「熱海ラボ」は、作業所（仮称ZACを活用する）など、決り手理事長には、8月と職員も教員を交え、人が訪れ、利用者の生活に議論を交わすの場別やアルミ缶圧縮作業を身近で見学した。介護福祉士で職業訓練士でもある佐藤は、「作業所の働き方から「利用者の工賃を上げるためには、アルミ缶の回収率やオリシナル商品の売り上げを良くしたい」といった課題の解決策を講義した。生徒は「工賃アップがあるか」と質問し、企業への意見を聞き取った。生徒は「工賃アップの案は」を抽出し、「作業所の働き方から」を挙げた。一方に課題を見つけて解決してあげたい」といった声も聞かれた。

同校は文科省の「地域の協働による高等学校教育改善推進事業」指定校に選ばれ、地域人材の育成に向けたカリキュラムの開発と実践を進めている。補正予算など4議案可決
市議会の観光建設公営企業審議会
熱海市議会の観光建設公営企業審議会は23

九月二十七日付け熱海新聞より転載

実施体制 コンソーシアム熱海の構成



熱海市役所
全面的協力
地域連携協定予定

多賀小・中学校
毎年、生徒による交流
を実施

地元企業
インターンシップ
実習で連携

法人会
起業家育成プログラム
で連携

ジオパーク
観光ツアーリズムで連携

“熱海人”を育てるためのシステム

カリキュラム開発等専門家



項目	内容
氏名	船戸修一
所属	静岡文化芸術大学文化政策学部 文化政策学科
専門分野	社会学、地域復興、農業経済学、社会システム工学、安全システム
雇用形態	謝金
役割	地域と学校双方の視点を踏まえ、主体的にプロジェクトの取組内容を指導する。

地域協働学習実施支援員



項目	内容
氏名	水野綾子
所属	FIREBUG P-NEWS Dept. コンテンツチーフアドバイザー
役職等	熱海リノベーションまちづくり実行委員
雇用形態	静岡県教育委員会負担
役割	総合的な学習（探究）の時間において実施している教育活動「熱高ラボ」と「熱海ラボ」において外部機関との調整や探求的な学習活動のファシリテーターと担当する。

コンソーシアム熱海が取り組む課題探究アプローチ

①総合的な探究の時間（探究・教科横断的学習） 【桃陵】

②授業

③部活動

④特別活動

② 授業での取組例

- | | |
|----|---------------------------------------|
| 商業 | 高校生ホテル、ツアープラン、商品開発、
実習、起業家育成プロジェクト |
| 福祉 | 多賀小との交流、実習、介護食の開発 |
| 英語 | 観光チラシの作成、街頭インタビュー対策 |
| 国語 | 効果的なインタビュー、プレゼン方法 |
| 社会 | 熱海の史跡（神社等の歴史） |
| 理科 | 熱海のジオ |
| 家庭 | 熱海特産品の調理法開発 |
| 保体 | 健康増進（温泉の効用） |
| 数学 | データ分析等 |

③ 部活動での取組

- ・エイサー部、ボランティア部
地元施設訪問、イベントでの発表、手伝い等の

地域

- 貢献、異校種交流
- ・運動部
地元祭りへの参加
- ・報道部
企業とコラボした広報誌作成

④ 特別活動

- ・熱海市2030会議参加、子ども食堂開催
- ・社会人講話

① 総合的な探究の時間（桃陵）

- ・地域課題のテーマ設定、解決方法
「観光」観光と地場産業
「福祉」高齢化、バリアフリー
「防災」津波対策
「国際交流」外国人労働者
「エネルギー資源」温泉活用
- ・企業、自治体と協働し企業が求める人材の 考察を通し、将来の生き方を考える。

“熱海人”を育成するための課題探究活動

探究活動の評価について

◎地域に貢献できる人材のもつ資質能力とは

・どのように評価するか、どのような人材をめざすか、それはどのような表れでもって見取ることができるのか

- 1 高校として育てたい資質・能力・人材像
- 2 地域で協力している企業人たちが考える資質・能力・人材像
- 3 実際に地域で活躍しているLOCAL PEOPLEが考える資質・能力・人材像

この3つのアプローチを統合し、目指す人物像とその評価指標を考えたい

地域人材に対するアンケート

3 実際に地域で活躍している人から見えるもの

(2) 調査

アンケート実施

対象：熱海在住者で、地域貢献的活動をしている仕事をされている人（熱海市議会議員、町内会長、民生・児童委員、熱海ラボ関係企業担当者、商工会議所

140名）および熱海高校生（比較のため）

1 あなたのご職業とお役職を教えてください。

ご職業

お役職

2 あなたの年齢として該当するものの番号を○で囲んでください。

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|
| 1 10歳未満 | 2 10歳～20歳未満 | 3 20歳～30歳未満 | 4 30～40歳未満 |
| 5 40～50歳未満 | 6 50歳～60歳未満 | 7 60歳～70歳未満 | 8 70歳以上 |

3 あなたが地域のことを意識し、地域に貢献する活動を始めたのは何歳くらいの頃からですか。該当するものの番号を○で囲んでください。

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|------------|
| 1 10歳未満 | 2 10歳～20歳未満 | 3 20歳～30歳未満 | 4 30～40歳未満 |
| 5 40～50歳未満 | 6 50歳～60歳未満 | 7 60歳～70歳未満 | 8 70歳以上 |

4 あなたが地域に貢献するような活動に取り組み始めたきっかけを教えてください。（自由記述）

5 あなたが地域の課題として強く認識されていることは何ですか。該当するものすべてについて、番号を○で囲んでください。その他に該当するものがある場合は枠内にお答えを御記入ください。

- | | | | |
|--------------|-----------|-------------|-----------|
| 1 エネルギー問題 | 2 林業振興 | 3 環境問題 | 4 地域活性化 |
| 5 観光によるまちづくり | 6 自然の観光利用 | 7 鳥獣害問題 | 8 新商品開発 |
| 9 子どもの学力向上 | 10 子育て支援 | 11 少子化問題 | 12 高齢化問題 |
| 13 水産業振興 | 14 津波対策 | 15 土砂崩れ対策 | 16 地震対策 |
| 17 地域医療 | 18 農業振興 | 19 産業の後継者問題 | 20 空き家問題 |
| 21 貧困問題 | 22 幼児虐待 | 23 治安問題 | 24 バリアフリー |

25 教育環境問題 (c) Atami High School 2019

26 その他

--

3 実際に地域 で活躍している人 から見えるもの

(2) 調査 アンケート 実施

- 6 以下の設問は、あなたの様子に関する認識をお尋ねするものです。
現在の各項目に関するあなたの様子として、最も近いと思われるもの、
また、高校生の頃（10代の頃）の自分を振り返って、最も近かったと思われるものを○で囲んでください。
 （尺度：1＝全くそう思わない、2＝そう思わない、3＝そう思う、4＝かなりそう思う）

項目		尺度							
上段：現在のあなたについて 下段：高校生の頃（10代の頃）の自分を振り返って		1	2	3	4				
		全くそう思わない			かなりそう思う				
1	自分は行動力があると思う。（あったと思う。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
2	自分なりの目標をもった上で、計画を立てながら実行することができる。（実行することができた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
3	ほかの人を巻き込んで行動することができる。（行動することができた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
4	海や山などの自然に囲まれた生活を愛している。（愛していた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
5	地元これから住みたいと思う。（住みたいと思っていた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
6	地域住民と触れ合う機会を積極的に作っている。（作っていた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
7	自分の住む地域の情報に対して、敏感である。（敏感であった。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
8	地元の悪いところよりも、良いところのほうが目に付く。（目に付いていた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
9	地元で、将来のことや実現したいことを話し合える人がいる。（人がいた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
10	本音を気兼ねなく発言できる。（発言できていた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
11	地域の現状に満足せずに、より良いものを自分たちの手で作り出そうという意識がある。（意識があった。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
12	周囲から反対されても、粘り強く取り組みを続けることができる。（できていた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
13	地元の課題を解決するヒントは、地元の人たちの中にあると考える。（考えていた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
14	知りたいことがあったとき、関係者に直に会って話を聞く。（聞いていた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
15	文献やインターネットで調べたことだけでは情報不足であることを理解している。（理解していた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4
16	面識のない人にも気軽に話しかけることができる。（話しかけることができていた。）	現 在	1	—	2	—	3	—	4
		高校時代	1	—	2	—	3	—	4

アンケート結果の抜粋

